

# 中山大學

## 二〇〇六年攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 449

科目名称: 日本文学

考试时间: 2006年01月15日下午

### 考生须知

全部答案一律写在答题纸上, 答在试题纸上的不得分!  
答题要写清题号, 不必抄题。

(150点是满分)

### I、穴埋 (1×50=50点)

- 01、中国の漢字が伝来したことによって、日本に文字文化が芽生えはじめる。と言われる漢字の音訓で日本語の発音を写したのも、漢字の意味を無視した一種のパロディである。
- 02、『古事記』は\_\_\_\_\_降臨神話などを中心とする日本最古の歴史書でもある。
- 03、\_\_\_\_\_が源氏物語の本質をあらわす言葉だと説いたのは本居宣長である。これは源氏を儒教の立場から不倫であるとする説などに反対した発言である。
- 04、平安時代の女流文学を代表するジャンルは\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_である。
- 05、善いことをすれば善いことが、悪いことをすれば悪いことが必ず起こるという、因果応報の話が多い\_\_\_\_\_は日本最早の仏教説話集である。
- 06、\_\_\_\_\_は藤原俊成が提出した芸術理念である。奥深く繊細で表現の外ににじみ出る余情のことを言い、のちの芭蕉の「さび」にもつながる。
- 07、『風姿花伝』は能楽の理論書で、その作者は\_\_\_\_\_である。
- 08、\_\_\_\_\_は能が演じられるあい間あい間にはさまるようにして上演される。
- 09、\_\_\_\_\_の『曾根崎心中』のクライマックスで、お初と徳兵衛が曾根崎天神の森へと向かう道行文は有名である。
- 10、五山文学は\_\_\_\_\_五山、\_\_\_\_\_五山といわれる、それぞれの有名な寺に関わりのある禅宗の僧侶たちの漢詩文を指す。
- 11、「小説」という言葉自体は明治の坪内逍遙が使った言葉で、江戸時代にはと言う呼び名が使われた。
- 12、上田秋成が書いた\_\_\_\_\_は怪異小説の傑作である。
- 13、古代そのままの生活を理想とする学派の学問を\_\_\_\_\_という。その理想の古代を知るためには古典を研究する必要があると考え、国文学的な研究が開始された。
- 14、『源平盛衰記』は\_\_\_\_\_の異本である。

- 15、\_\_\_\_\_は天竺、震旦、本朝の三部構成からなる日本最大の説話集である。
- 16、入唐した円仁が書いた\_\_\_\_\_は有名である。
- 17、『菅家文草』は\_\_\_\_\_自身が編んで天皇に奉った『菅家三代集』の一部である。
- 18、秘事相伝、つまり秘伝は平安時代末から多くの芸事について広く行われるようになったが、\_\_\_\_\_はその先蹤である。
- 19、「本地垂迹」説は、仏教と神道とを併せ用いたばかりでなく、仏教の立場からを説明して、両者を融合させようとするものであった。
- 20、『本朝文粹』の社会批判は、あきらかに屈原、杜甫の線から遠く、\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_の流れに近い。
- 21、『和漢朗詠集』の漢詩文五八八篇の作者は、二三四人が中国人であり、中国詩人の中で第一位の\_\_\_\_\_（一三九篇）は、はるかに第二位をひき離していた。
- 22、福沢諭吉の\_\_\_\_\_は、有名な一句「天は人の上に人を造らず 人の下に人を造らずと云へり」で始まる。
- 23、立身出世の風潮の中で、役所をやめさせられ、恋人も友達にとられる文三は、  
\_\_\_\_\_が書いた言文一致体小説『\_\_\_\_\_』の主人公である。
- 24、自然主義の姿勢にあきたらず、事実を超えたところに作られるフィクションの世界を追求しようとした明治時代の反自然主義運動の代表作家は\_\_\_\_\_と  
\_\_\_\_\_である。
- 25、反自然主義の中でも、特に感覚的な美の世界を追求しようとする傾向が強いのは  
\_\_\_\_\_の人々である。
- 26、\_\_\_\_\_は自然主義の無解決無理想の立場に反発し、理想を追い求めたグループである。
- 27、「様々なる意匠」、「私小説論」などを書いた\_\_\_\_\_は日本における評論というジャンルの確立者である。
- 28、プロレタリア文学に対する弾圧によって、プロレタリア文学運動からドロップアウト（離脱）する人々が出現し、\_\_\_\_\_文学が生まれた。
- 29、昭和十年前後、軍国化が強くなるにつれて、日本的なものを賛美するや、時代と直結した戦争文学が登場する。
- 30、明治期に欧米から輸入された詩のスタイルは和歌、俳句にかわる新しいジャンルを日本に生んだ。\_\_\_\_\_はその先駆けである。
- 31、於母影は森歐外らによる\_\_\_\_\_である。
- 32、童話『銀河鉄道の夜』などを書き、農民と共に生き、宗教的な心情と科学的な知識を融け合わせた詩人は東北出身の\_\_\_\_\_である。
- 33、\_\_\_\_\_は『遠野物語』などの柳田国男と並ぶ民俗学の大家である。
- 34、明治政府の陸軍卿、\_\_\_\_\_は福沢諭吉らと共に、「明六社」を作って、近代化のための啓蒙活動も行った。
- 35、日本仏教を、殊に禅宗と浄土真宗の伝統を明瞭な言葉で語り、日本文化にとってのその意味を再評価したのは\_\_\_\_\_である。

- 36、「俳句は文学の一部なり、文学は美術の一部なり」と書いたように、正岡子規の文学的功績は、\_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_を素材にして、明治の文壇に文芸批評の形式を創り出したことである。
- 37、一九一〇年に逮捕され、「大逆罪」で死刑の判決を受けた\_\_\_\_\_は 中江兆民の弟子である。
- 38、『ぼく東綺譚』は荷風の小説の頂点であり、谷崎潤一郎の『\_\_\_\_\_』と双璧を成すだろう。
- 39、日露戦争後の明治天皇制官僚国家権力の性質を見事に象徴していたのは一九一〇年に起こった二つの事件：\_\_\_\_\_と大逆事件である。
- 40、マルクス主義は、両大戦間の日本文学に、何を寄与したか。たしかに文学作品の題材の範囲が拡大された。たとえば、\_\_\_\_\_は NAPF に参加して（一九二八年）、小説『蟹工船』を書いた。
- 41、二十世紀二十年代の「大正デモクラシー」の理論的な代表者が吉野作造であったとすれば、文壇におけるその代表者は\_\_\_\_\_であった。
- 42、大衆小説作家を除けば、三〇年代にいちばん広く読まれた小説家は、\_\_\_\_\_であったかもしれない。
- 43、窓硝子に外の夕景色と主人公の向いに坐った少女の顔が重ってみえる。「殊に娘の顔のただなかに野山のともし火がともつた時には、島村はなんともいへぬ美しさに胸が顫へたほどだつた」。これは\_\_\_\_\_の冒頭に近い汽車のなかの有名な場面である。
- 44、『杜甫詩注』を書いた\_\_\_\_\_の仕事は、中国をはじめ国際的にも高く評価される。
- 45、日本における西洋文学研究が国際的な水準に達したのは、おそらく\_\_\_\_\_にはじまる。
- 46、\_\_\_\_\_賞と\_\_\_\_\_賞はともに昭和十年文芸春秋社が設立した新人に対する文学賞である。
- 47、日本の大衆小説としては、\_\_\_\_\_の『大菩薩峠』、吉川英治の『宮本武蔵』などが元祖である。
- 48、『死者の奢り』、『万延元年のフットボール』を書いた\_\_\_\_\_は日本現代文学を代表する作家の一人である。
- 49、『真空地帯』を書いた\_\_\_\_\_は第一次戦後派作家である。
- 50、戦後思想の巨星とも言われる吉本隆明の娘は『キッチン』、『哀しい予感』を書いた\_\_\_\_\_である。

II、次の古典文1と2を鑑賞せよ。(2×5=10点)

1、命あるものを見るに、人ばかり久しきはなし。かげろふの夕べを待ち、夏の蟬の春秋を知らぬもあるぞかし。つくづくと一年を暮すほどだにも、こよなうのどけしや。飽かず、惜しと思はば、千年を過すとも、一夜の夢の心地こそせめ。住み果てぬ世にみにくき姿を待ち得て、何かはせん。命長ければ辱多し。長くとも、四十に足らぬほどにて死なんこそ、めやすかるべけれ。(兼好法師『徒然草』第七段)

2、「春風馬堤曲」 十八首

しゃぶそん

謝 蕪 邨

余一日問耆老於故園。渡澗水 (余一日耆老を故園に問う。澗水を渡り)

過馬堤。偶逢女婦省鄉者。先 (馬堤を過ぐ。偶 女 の 郷 に 婦 省 する 者 に 逢 う。先)

後行數里。相顧語。容姿嬋娟。 (後して行くこと數里。相 顧 みて 語る。容姿 嬋 娟。)

癡情可憐。因製歌曲十八首。 (癡 情 憐 む 可 し。因 て 歌 曲 十 八 首 を 製 し。)

代女述意。願日春風馬堤曲。 (女に代って意を述ぶ。題して春風馬堤曲と日ふ。)

やぶ入や浪花を出て長柄川

春風や堤長うして家遠し

堤下摘芳草 (堤より下て芳草を摘めば)

荊与棘塞路 (荊と棘と路を塞ぐ)

荊棘何妬情 (荊棘何ぞ妬情なる)

裂裾且傷股 (裾を裂き且つ股を傷つく)

溪流石点々 (溪流石点々)

踏石撮香芹 (石を踏んで香芹を撮る)

多謝水上石 (多謝す水上の石)

教儂不濡裾 (儂をして裾を濡らさざらしむ)

一軒の茶見世の柳老にけり

茶店の老婆子儂を見て慇懃に

無恙を賀し且儂が春衣を美む

店中有二客 (店中二客有り)

能解江南語 (能く江南の語を解す)

酒錢擲三緡 (酒錢三緡を擲ち)

迎我讓搨去 (我を迎へ搨を讓つて去る)

古駅三両家猫兒妻を呼妻来らず

呼雛籬外鷄 (雛を呼ぶ籬外の鷄)

籬外草満地 (籬外草地に満つ)

雛飛欲越籬 (雛飛んで籬を越えんと欲す)

籬高墮三四 (籬高くして墮つること三四)

春艸路三叉中に捷徑あり我を迎ふ

たんぽゝ花咲り三々五々は黄に

三々ハ白し記得す去年此路よりす

あわれ たんぽぽくきみじかう あまぜり  
憐みとる蒲公茎 短して乳を 滷

じほ  
むかしむかししきりにおもふ慈母の思

かいほうべつ  
慈母の懐袍別に春あり

なにわ  
春あり成長して浪花にあり

ろうかきょうへんざいしゆ  
梅ハ白し浪花橋辺財主の家

しゆんじよう なにわぶり  
春情まなび得たり浪花風流

きよう じ てい そむ みさんしゆん  
卿を辞し弟に負く身三春

もと すえ とるつぎき  
本をわすれ末を取接木の梅

ゆきゆき ゆきゆく  
故郷春深し行々て又行々

ようりゆうちようていみちようや  
楊柳長堤道漸くくだれり

きようしゆ こうこん  
嬌首はじめて見る故園の家黄昏

よ はくはつ ひとてい いだ  
戸に倚る白髪の人弟を抱き我を

みずやこじんたいぎ  
君不見古人太祇が句

やぶいり そば  
藪入の寝るやひとりの親の側

Ⅲ、次に挙げた表現を解釈しなさい。(4 X 10 = 40点)

- 1、ますらおぶり
- 2、たおやめぶり
- 3、連歌
- 4、お伽草子
- 5、日本的な自然主義

- 6、心境小説
- 7、四季派
- 8、転向文学
- 9、無頼派
- 10、陰翳礼賛

IV、中文で正岡子規について語れよ。(1×10=10点)

V、谷崎潤一郎の文学について知る限りのことを述べなさい。(1×20=20点)

VI、『源氏物語』と『枕草子』との文芸理念を比較して鑑賞せよ。(1×20=20点)